

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	救急活動中、雪の下路面が凍結していたことに気づかず転倒しそうになった。
3. 体験した事例の中心的要素	活動現場において夜間照明が懐中電灯のみであった為、視界が狭く足元の状況が確認しにくかった。
4. 体験した事例の原因・理由	指令を受けた署所からは、現場が山間部で、気象状況の把握が難しく軽装備で出場してしまった為。

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

.....

1. 発生日時	平成 20 年 1 月 23 日 午後 8 時頃
2. 発生した当時の天候	雨
3. 発生した活動現場	屋外：山間部道路脇
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場 合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか （起きそうになったのか）	転倒
7. 事例体験時の活動	救急、現場活動初期 []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	その他：現着後、負傷者と接触までの間
9. 同様の体験は、これまでにどの 程度の頻度で体験していますか。	これまでに 1, 2 回程度体験している。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[38]歳、 勤続年数[16]年、 現場経験年数[11] 年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [過去に 1, 2 回程]、 任務 [車長]
○当事者 B	年齢[31]歳、 勤続年数[13]年、 現場経験年数[8]年、 階級[消防副士長]、 同様の活動 [過去に 1, 2 回程]、 任務 [機関員]
○当事者 C	年齢[26]歳、 勤続年数[3]年、 現場経験年数[2]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	救急隊	現場到着	
経過 2	A	全員に注意を促す	
経過 3	A	後着隊に路面積雪・凍結有りの指示を出す	無線にて
経過 4	B 及び C	患者の場所までストレッチャーを搬送する	
経過 5	消防隊	後着隊到着	
経過 6	A	後着隊に照明準備の指示を出す	
経過 7	A ・ B ・ C	患者の場所まで移動中、転倒しそうになる	
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

● ●

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	はい

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

(路面 雪・凍結、下り坂)

